

M5 クリスマン生活をするとは、神の壮大な家からの、またそのための、命の供給を伴う命の流れを享受することによってである	
クリスマン生活をするとは、(以下のことによります)	
神の壮大な家からの命の流れを享受し、	また、その(神の壮大な家の)ために、命の供給を伴うことによって

M5 クリスマン生活をするとは、神の壮大な家からの、またそのための、命の供給を伴う命の流れを享受することによってである			
神の家から出た命の流れを享受する	I	A	命の流れは、神の行動です
		B-E	どのように命が流れるか(エゼキエルの絵図)
		F	どのような命の流れを増し加えるか
		G-H	命の水の川の結果 また妨げ(絶対的であることを必要とする)
神の家のために命の供給を伴う	II	A-F	種まく者、植える者、水を注ぐ者、生む者、養う者、建造する者となる

「朝ごとの食物第五週」 クリスマン生活をするとは、神の壮大な家からの、またそのための、命の供給を伴う命の流れを享受することによってである					
Day	段落	構成	主題	要点	
D1	神の家から出た命の流れを享受する、	どのようにして水が流れるのか	神の家から出た命の流れを享受する	水は敷居の下から流れ出ます 水は家の右側から流れ出て、祭壇のそばに あります	
D2		どのように流れが増し加わるのか	主によって測られることで流れがさらに深くなります	青銅の人としての主によって四回、千キヰトを測られる 流れの深さは、わたしたちがどれほど主によって測られてきたかにかかっています	
D3		水が流れた結果	川の流れはすべてのものを生かします	川の流れは、乾き干からびた地を潤し、死の水をいやし、命を生み出す 川の流れは木、魚、家畜を生み出します	
D4		流れの妨げとなるもの	川は沢と沼をいやすことはできません	沢や沼は中立の場所、 命の流れのために、絶対的である必要があります	
D5		神の家のための命の供給	命の奉仕者	命を供給する奉仕者には6つの身分がある	新約の務めは人に命を供給します 命の奉仕者には6つの身分があります
D6			神の家の建造	命の奉仕者は養う者、建造する者です	命の奉仕者は、養う者です 命の奉仕者は、建造する者です

(参考)

エゼ 47:1 次に、彼はわたしを家の入り口に連れ戻した。すると、見よ、水が家の敷居の下から東へ流れ出ていた(家が東に面していたからである)。その水は家(宮)の南側、祭壇の南を流れ下っていた。

エゼキエル 47:1 のフットノート

この水は、永遠から流れ出て民の渴きをいやす命の水としての三一の神を表徴します。川が家(宮)から流れ出るようにする要因は、

- (1)家(宮)の建造と完成。
- (2)家(宮)の模型、法則、おきてにしたがった民の生活(43:10-11)。
- (3)祭司の奉仕(第 44 章)。
- (4)すべてのささげ物をささげること(第 45 章—第 46 章)。

これらの要因が召会の中に出現すればするほど、神の流れはますます多く流れ出ます。

まとめ

- 流れ込ませ、流れ出す、クリスマン生活
- *家と命の流れ——命の流れを享受する
- *測ることと命の水の川——主によって徹底的に測られる
- *神の建造のため——命を供給する者となる

クリスチャン生活をするには、神の壮大な家からの、またそのための、
命の供給を伴う命の流れを享受することによってである

聖書：エゼキエル 47:1-12. II コリント 3:6.

I コリント 9:11. 3:6, 9. 4:15. 3:2, 12

クリスチャン生活は、神の家から出た命の流れを享受することです

I. クリスチャン生活をするために、わたしたちは神の家からの命の流れを享受する必要があります——エゼキエル 47:1-12：

命の流れを認識する必要

* 命の流れは神の行動であり、命の流れは人を神化します

- A. 神の究極の行動は人の中の神の行動であり、神の命、性質、要素、本質において神であるすべてをもって人に浸透することによって、人を神化し、神の栄光を現して、神を表現することです——II コリント 3:18. I ヨハネ 3:2。

命の流れの特徴について

* 命の流れは敷居の下から流れ出ます——流れるには出口が必要です

- B. 水は敷居の下から流れ出ます——エゼキエル 47:1：
1. 水が流れるために、敷居、出口がなければなりません——参照、詩 81:10。
2. わたしたちがさらに主に近づき、さらに主と接触するなら、出口があって、生ける水が召会から流れ出るようにします——詩歌 614 番。

* 命の流れは神の栄光の方向、東に向かっていきます

- C. 流れは東に向かっていきます——エゼキエル 47:1：
1. 神の川は神の栄光の方向に流れます——参照、民 2:3. エゼキエル 43:2。
2. 召会の中のあらゆる人が神の栄光を追い求めて顧慮するなら、生ける水は召会から流れ出ます——ヨハネ 7:18. I コリント 10:31。

* 命の流れは家の右側から流れ出ます——キリストが首位でなければなりません

- D. 水は家の右側から流れ出ます——エゼキエル 47:1：
1. 聖書で右側は最高の地位、第一位です——参照、ヘブル 1:3。
2. 命の流れはわたしたちの内側で首位でなければならず、わたしたちの生活と働きの中で制御する要因とならなければなりません——啓 22:1. コロサイ 1:18 後半。

* 命の流れは祭壇のそばにあります——命の流れを享受するために、十字架の対処を経験する必要があります

- E. 流れは祭壇のそばにあります。この事が見せているのは、わたしたちが命の流れを享受するために、十字架の対処と完全な献身を必要とするということです——エゼキエル 47:1。

どのように命の流れを増し加えるか

* 命の流れは測られることで増し加わります

- F. 命の流れの増し加わりのために、わたしたちは青銅の人としての主によって測られる必要があります——40:3. 47:2-5. 啓 1:15. 参照、ヨハネ 7:37-39：
1. 測ることは、試験し、テストし、裁き、所有することです。完全な単位である千キュビト（参照、詩 84:10）を四回測ることが示しているのは、被造物としてのわたしたちが主によって徹底的に測られる必要があります、それは主がわたしたちの全存在を占有し、徹底的に所有するためであるということです（イザヤ 6:1-8）。
2. わたしたちが主にわたしたちを所有していただくために、主にわたしたちを試験し、テストし、裁いていただければいただくほど、流れはますます深くなります。流れの深さは、わたしたちがどれほど主によって測られてきたかにかかっています——参照、I ヨハネ 1:5, 7。
3. わたしたちは主によって測られれば測られるほど、命の恵みの流れによってますます拘束され制限されて、ついには、その中で泳げる川としての流れる三一の神の中で失われ、彼によって押し流されるまでになります。ある意味で、わたしたちは自分のすべての自由を失いますが、別の意味で、わたしたちは真に自由です——エゼキエル 47:4-6。

命の水の川の結果と阻むもの

* 命の流れはすべてのものを生かします

G. 川はすべてのものを生かします。川の流れは木、魚、家畜を生み出します——7, 9-10, 12 節。

* 命の流れは、荒野を潤し、死海をいやします——目的は命を生み出すため

H. 川は、乾き干からびた地を潤し、死の水をいやします。この潤すことといやすことは、命を生み出すためです——8 節：

1. 川は沢と沼をいやすことはできません。沢や沼は中立の場所、中途半端な場所、妥協となまぬるさの場所です——11 節。参照、啓 3:15-16。

* 命の流れは絶対的を要求します

2. 命の流れのために、また召会生活のために、主イエスは絶対的であることを願っており、また要求しています。絶対的であることによって、わたしたちは流れの中にいます。流れは細々としたものではなく、泳げる川です。こうして川が入る所はどこでも、すべてのものが生きます。

神の家の有機的な建造のために、命の流れを享受することを通して、わたしたちは命を供給する者(命の奉仕者)となります

II. わたしたちが命の流れとしてのキリストを享受することは、わたしたちが種まく者、植える者、水を注ぐ者、生む者、養う者、建造する者となり、命を供給して、神の驚くべき有機的な建造、すなわち神の壮大な家のためであることです——II コリント 3:6：

* 命の奉仕者は、種まく者として、キリストをまきます

A. 命の奉仕者は種まく者であり、霊の種をまきます：

1. I コリント第 9 章 11 節でパウロはコリント人に、「わたしたちがあなたがたに霊のものをまいて」と言います。「霊のもの」は霊の種を指しています。
2. 種は命の容器であり、霊の種をまくことは、わたしたちの霊の中で、わたしたちの霊をもって、わたしたちの霊から命を分け与えることです。主イエスは種まく方として来て、ご自身を命の種として人類の中へとまきました——マタイ 13:3, 37。
3. 主の回復の中で、わたしたちは、新契約の奉仕者として、種まく者となる必要があります、命を分け与え、他の人の中でキリストを成長させ生み出す必要があります。

* 命の奉仕者は、植える者として、キリストを植える

B. 命の奉仕者は植える者であり、キリストを神の民の中へと植えます——I コリント 3:6：

1. キリストの中で再生された、神の命を持つ信者たちは、神の新創造の中で神の耕された地、神の農場です——9 節。
2. わたしたちはキリストを他の人の中へと植えるために、わたしたちの霊の中で命としてのキリストを真に経験する必要があります。

* 命の奉仕者は、水を注ぐ者として、キリストを注ぐ

C. 命の奉仕者は水を注ぐ者であり、キリストをもって人々に水を注ぎます。いったんわたしたちはキリストを他の人の中へと植えたなら、命の水をもって彼らに水を注ぐ必要があります——6 節：

1. わたしたちは神の農場で水を注ぐ者を、貯水池をもって農場に水を供給する灌漑システムにたとえることができます。わたしたちは神聖な「灌漑システム」となり、貯水池をもって生ける水をわたしたちの内側に蓄え、神の農場としての召会に水を注ぐべきです。
2. わたしたちは命の水としてのキリストに対する真の経験と、彼との生きた接触を持つ必要があります。それは、わたしたちが生ける水の経路、神聖な灌漑システムとなることができるためであり、他の人に命の水を供給することができるためです——ヨハネ 4:14, 7:37-39。

* 命の奉仕者は生む者として、キリストの生むことを通して、霊の子供たちを生みます

D. 命の奉仕者は生む者、父であり、彼が生んだ子供たちに命を分け与えます——I コリント 4:15：

1. 生むことは、命を分け与えることを通して霊の子供たちを生むこと、彼らを生み出すことです。
2. わたしたちは神聖な「命の胚芽」を持って、神聖な命を他の人の中へと分け与え

る必要があります。それは、彼らが神の子供たちとして生まれるためです。

***命の奉仕者は、養う者として、キリストをもって人を養います**

E. 命の奉仕者は養う者です。養うことは命の事柄です。それは教えることとは異なります。教えることは知識の事柄です：

1. 乳を飲ませ、あるいは食物を食べさせることは、人を養うことです (3:2)。使徒がコリントの信者たちに供給したのは乳であり、それは彼らを養ったはずです。
2. 使徒たちの健全な教えは、命の供給としての健康な教えを人々に供給し、彼らを養い、あるいは彼らをいやします—— I テモテ 1:10 後半、6:3、II テモテ 1:13、テトス 1:9。

***命の奉仕者は、建造する者として、キリストをもって建造します。**

F. 命の奉仕者は建造する者であり、金、銀、宝石をもって建てます：

1. 金は、神聖な性質における父なる神を象徴します。銀は、贖う働きにおけるキリストを象徴します。宝石は、造り変える働きにおけるその霊を表徴します（これは、人の性質を表徴する木に相對し、肉における人を表徴する草に相對し、命のないものを表徴する刈り株に相對します）—— I コリント 3:12。
2. 雅歌が描写しているのは、正常な召会生活の中で、成就された信者たちが造り変える霊と組み合わせられて、キリストを愛し追い求める者たちを成就し、三一の神を彼らに供給して彼らが造り変えられるようにし、三一の神の属性が彼らの中へと造り込まれて彼らの美德となるということです——雅 1:10-11。
3. これは、キリストの有機的なからだとしての召会を建造して、新エルサレムを究極的に完成し、神の永遠のエコノミーを完成するためです—— I コリント 3:12、啓 21:18-21。